

西大学院の 知的な旅

XIV

琉球料理のルーツを探る旅

世界遺産「南靖土楼」

琉球大交易時代の拠点福建を訪ねる

旅行期間	平成16年11月30日(水)～12月4日(日)
旅行費用	¥160,000 (お一人様 2名一室)
募集人員	15～20人
条件	①航空運賃(日程表に記された区間運賃)、②宿泊代金(2名1部屋利用) ③交通費(日程に記された交通費。個人が自由に行動する場合を除く) ④食事(日程表に記載の食事) ⑤日程表記載入場料、団体行動中のサービス料、税金、手荷物移送料、空港税、燃料付加運賃
費用に含まれないもの：超過手荷物料金、個人的費用	

<ツアー催行条件等>

- ・最小催行人員：15人
- ・旅行スケジュール、行程はあくまで目安です。予期できない事情で変更する場合があります。

※見どころ・楽しみどころ

- 見る1：列強国の共同租界だった頃の洋館が数多く残り、異国情緒を漂わせている廈門市の沖合に浮かぶ美しい鼓浪嶼。
- 見る2：大交易時代の琉球と中国の緊密な交流の歴史を象徴する琉球館、琉球人墓
- 見る3：世界遺産「南靖土楼」。
- 見る4：中国東南地方の伝統的建築物群が美しい風景の中に溶け込む学園都市「集美学村」
- 味わう1：老舗「老福州」で楽しむ福州伝統料理
- 味わう2：廈門市名店での廈門料理
- 楽しむ1：福州市内の料理学校との交流会